

介護事業部 ヘルパーセンター 好事例シリーズ

「ヘルパーの活動時の関わり
により気力を取り戻し在宅
生活を送る事ができる」

～事例分類～

健康状態 / 理解・行動 / ADL /

家事・IADL / **QOL** / 介護状況

ヘルパーさんとのかかわりが
どんな変化をもたらしたのか、
読んでみるまも♪

まもりん



スライド全 6 枚

【事例情報】

○80歳代後半 ○男性 ○介護度1

【Before】2020年2月頃

同居していたお姉様が入院され、毎日病院に通いお姉様を励まされ生活のほとんどが病院に通うことを中心に回っていました。そのお姉様が死去、落ち込まれ何をどうしていいか。何もできない。したくないという状況が続きましたが、ヘルパーの週1回の掃除支援での訪問は受け入れてくれました。また今年1月頃から外出すれば転倒。室内でも転倒が増えてその度に落ち込まれ、意欲低下、物忘れが進み、入浴や食事、部屋の片付けができなくなっていました。



【After】2021年5月頃

2021年1月総合事業で買い物代行追加で週2回になった事で冬場の外出時の転倒を防ぐことができ、2021年4月介護保険更新で要介護1となり、**自宅での生活を強く望まれ、在宅サービス支援として、週2回90分掃除、入浴、買い物代行、調理支援、ゴミ出しを計画に入れ始動しました。週2回活動しているヘルパーがご本人の話を傾聴しコミュニケーションを取る事で信頼関係ができ、ご本人の意欲も向上し在宅生活が送れるようになりました。**



経過



阻害要因・背景	サービス・ケア内容	サービス提供のねらい
お姉様を亡くされてから家の中の片付けが出来なくなり部屋の状況が物であふれてきて自分でどうすればいいかわからない。	掃除支援、ゴミまとめ・ゴミ出し	室内転倒しないように居室内生活導線を掃除、ゴミ出しする事で日常生活が困難にならないようにする。
左足股関節が人工関節の為屈む動作や立ち上がりが大変な事。入浴準備や片付けが困難。	入浴介助	ふらつきによる転倒を心配せず安心して入浴してもらい、清潔を保持してもらう。
元々惣菜を買って食べ、偏った食生活をされていた。一人で買い物に出かけると転倒が多くなってきた。	買い物代行、調理支援	一人で買い物に出かける事の転倒のリスクを解消し、栄養のバランスの取れた食事ができる。

事例提出者からのアピールポイント

項目	内容
掃除	居室内の生活導線を掃除することで室内での転倒がなくなり、ヘルパーさんに申し訳ないとお本人が自分で片付けを進めていけるようになりました。
入浴	ヘルパーが入浴介助することで転倒の心配せず、安全安心に入浴できるようになり毎回気持ちいいと満足されております。
買い物代行、調理支援	ご本人と購入品を相談し、買い物代行し購入した食材で調理し食べて頂く事で満足感が得られ、精神的にも落ち着かれ前向きな気持ちになりました。
情報提供	サービス提供責任者も訪問活動しており、ケアマネジャーと連携を取り合い、随時協力しながら行っています。

💡事例へのコメント💡

気力が低下すると、出来ない事にばかり目が向き、負のサイクルに陥ってしてしまうことがあります。負のサイクルからプラスの思考に変わることが出来ると、変化が現れてきます。

ヘルパーが関わり、傾聴し、コミュニケーションをとることで、信頼関係を築いていき、良好な関係をつくることは支援をしていく上でとても重要です。

本人一人では、考えを整理出来ない事でも、支援を受ける事で、安心が出来て、気持ちも落ち着き、本人の意欲向上につながり、自分でも片付けを進めて行けるようになったのは、まさに、ヘルパーさんとの良好な関係性があったからだと思います。

【札幌市社会福祉協議会 施設福祉部】



私たちと一緒に 働きませんか♪

お友達を紹介して
ほしいまも

ヘルパー募集のご案内はこちら！



社会福祉法人札幌市社会福祉協議会
介護事業部



まもりん